

# 中東若手外交官による ミニシンポジウム及び交流会

中東若手外交官から見た日本  
～20年後の中東と日本の関係を展望する～

日時：2010年2月22日（月）10時00分～13時00分

会場：衣笠キャンパス 創思館カンファレンスルーム

対象：立命館大学生・大学院生

定員：120名

事前申込が  
必要です

## 第1部 ミニシンポジウム

<パネリスト>イスラエル、パレスチナ自治政府、エジプト、トルコの外交官4名

## 第2部 外交官との交流会

### お申し込みについて

参加希望の方は事前に電子メールで申し込みを行ってください。（定員となり次第終了します。）

必ず、氏名・ふりがな・所属(学部・研究科等)・回生を記入してください。

交流会(参加費用1000円・当日徴収)の参加有無を併せて記入してください。

メール送付先: shingen@st.ritsumeai.ac.jp

お問い合わせ

立命館大学 教育開発支援課

国際社会で活躍する人材養成特別プログラム担当

電話 075-465-8304 メール shingen@st.ritsumeai.ac.jp

## 中東若手外交官によるミニシンポジウム及び交流会

テーマ：中東若手外交官から見た日本～20年後の中東と日本の関係を展望する～

テーマに沿って、中東各国から見た日本、今後の展望、日本に期待することなどについてお話いただきます。

使用言語： 英語 必要に応じて通訳が入ります

日 時： 2010年2月22日(月)

10時00分～13時00分

ミニシンポジウムの後、外交官との交流会を予定しています。

パネリスト：イスラエル、パレスチナ自治政府、エジプト、トルコの外交官4名

司 会：本学国際関係学部 石原直紀教授(予定)

会 場：衣笠キャンパス 創思館カンファレンスルーム

対 象：立命館大学生・大学院生

定 員：120名

### 【お申し込みについて】

参加希望の方に事前に電子メールで申し込みを行ってください。

(定員となり次第終了します。)

必ず、氏名・所属(学部・研究科等)・回生・連絡先電話番号を  
記入してください。

交流会(参加費用1000円・当日徴収)の参加有無を併せて記入してください。

メール送付先：shingen@st.ritsumei.ac.jp

立命館大学 教育開発支援課

国際社会で活躍する人材養成特別プログラム担当

電話 075-465-8304 メール shingen@st.ritsumei.ac.jp

<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/ac/kyomu/cer/kokusaiHP/lecture/top.htm>

昨年度の模様は読売新聞に取り上げられました。

## 世界の一員として行動を < 3 2 >

「中東和平のため、ぜひ政治的イニシアチブを取ってほしい」。2月16日、立命館大衣笠キャンパス（北区）で開かれた「中東若手外交官によるミニシンポジウム」に参加したイスラエルやヨルダン、パレスチナ自治政府、モロッコの若手外交官4人は、約100人の学生を前に、そろって日本への期待感を示した。

シンポ開催のきっかけは、同大学客員教授の岡本行夫・元首相補佐官を中心に、国際社会で活躍できる人材の育成を目的に2006年度から始まった「オナーズプログラム」。その一環として、同大学の2～4年の12人が昨年8月、イスラエルとパレスチナを訪れ、ヨルダン川西岸などを視察、現地で熱心に質問を繰り返したのを知った外務省が、「将来の中東を担う人材と触れ合う機会を」と開催に協力した。

シンポ当日は、パレスチナ自治区・ガザでの紛争で暫定停戦が成立した直後で、学生からは「紛争をどう考えるか」といった質問が相次いだ。

これに対し、イスラエル外務省の外交官は「基本的にイスラエルとパレスチナは平和的に共存したい」と強調。パレスチナ自治政府外務庁の外交官も「自治政府はイスラエルとの平和を望んでいる」と応じた。

「双方とも終始和やかで驚いた」「平和への願いと現実の紛争とのギャップに政治の複雑さを知った」。終了後の学生たちの感想だ。政治経済の中心・東京以外の地で、生の国際政治に触れる機会は、そうそうないように思える。だが、シンポで司会を務めた元国連職員の石原直紀・同大学教授（国際安全保障）は言う。「外交官たちが喜んだのは学生の熱意。意欲と努力さえあれば、世界の現実はどこでも学べる」

4人の外交官は「国際社会への鋭い感性を磨き、どんな仕事に就いても世界の一員として行動を」と学生たちに言い残し、京都を離れた。

京の地で学ぶ学生たちから、そんな人材があふれんばかりに生まれることを、心から願う。（矢沢慎一）

（2009年3月8日 読売新聞）

[http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/kyoto/feature/kyoto1213456260857\\_02/news/20090308-OYT8T00010.htm](http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/kyoto/feature/kyoto1213456260857_02/news/20090308-OYT8T00010.htm)